

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL.187

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム（鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン）](#)

藍染:ジャパングルーの魅力

[2 知事の動き](#)

ベトナム航空チャーター便の就航記念セレモニー・お出迎えへ参加しました(3月27日)

[3 かごしまの国際交流](#)

令和5年度鹿児島県海外技術研修員及び県費留学生の修了式・報告会が開催されました(2月16日)

[4 かごしまの出来事](#)

「協力隊まつりかごしま2024」が開催されました(3月17日)

国際交流員のコラム

● 藍染：ジャパンプルーの魅力●

—鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン（シンガポール出身）—

鹿児島で伝統工芸の「藍染（あいぞめ）」が体験できるのはご存知ですか？

南さつま市にある「藍染屋」という工房がその工芸を今も守り続けています。

今日は一緒に見て行きましょう！



工房「藍染屋」

「藍染」とは

藍染（あいぞめ）とは、化学薬品を使用しない100%自然な日本の伝統的な染色技法です。

複雑な発酵プロセスにより、色が褪せにくく鮮やかで深みのある藍色を生み出す染料は、日本を象徴する色あいとして「ジャパンプルー」の名前で世界的に有名です。

藍染に使われている藍は一説では、人類最古の染料とも言われていて、日本もその歴史自体は、古くからあります。しかし、広く人々に普及したのは藍染に適した木綿の衣類が増える江戸時代からです。

当時日本に訪れた外国人は、その深い藍色が日本の象徴であると考え、1870年代に来日したイギリス人化学者によって「ジャパンプルー」という名前が付けられました。



工房の中

現在、多くの藍製品には合成染料が使用されていますが、藍染職人が伝統や技術を受け継いだおかげで、現代でもその伝統的な藍染を生かし続けることができました。

藍染屋



豊かな自然に囲まれた工房

緑豊かな山々，自然の風景と新鮮な空気に囲まれた工房「藍染屋」で藍染めの体験ができました。藍色に染められた衣類やアクセサリを販売しているお店も工房の隣にあります。藍染体験は30年様々な染物を体験し身に着けた，染め師の神園先生が丁寧に指導してくださいました。

藍染体験

まずは，アトリエにある発酵した染料の入った桶を見せてもらい，発酵工程や使用する染料について紹介してもらいました。

そこで，染料液は現在でも発酵し，生き続けており，常に栄養を与え続け育てなければならず，同じ原料でも桶ごとにわずかな違いがあるため，異なる色合いの藍が生まれていることがわかりました。

先生からも段染めや絞り染めなどの技法を説明してもらい，そのあと自分の希望のデザインや染めたい物（ハンカチ，バンダナ，ストール）を決めました。



染料



藍染の原料

私はストールを段染めで染めたいと思い、まず布を全体的に染めてから、少しずつ他色に染めたい部分を縛って何度も浸す作業をしました。

浸す合間に、布を取り出して空気に触れさせ、希望の色合いが出るまで繰り返しました。

その作業が終わった時点では、布の色は青ではなくて深い緑でした。好みの色合いになったら、水洗いと脱水をして乾燥しました。ここで、やっと美しい藍色が現れました。



布を染料に入れている私



染料に浸す布



水洗いをして藍色を出す



浸す合間に自然乾燥させる深い緑色の布

感想

私は、もともと手芸が好きで、今回の体験を通して伝統工芸である、藍染について学ぶことができて良かったです。

先生のおかげで楽しい体験に加え、藍染めについて、たくさん学ぶことができました。



桜島のシルエットをイメージしたデザインが完成！

自分で実際にやってみることで、天然の素材からの染液作り、複雑な作業の工程による染め藍の管理等には、多大なる手間と労力が必要であることを、より深く知ることができました。藍染めには本当に愛の力が必要だということですね！

江戸時代から伝わる伝統の技法自体も非常に意味があると感じられました。

とても興味深く、古い歴史を持っている藍染という日本の伝統工芸の魅力、藍染屋で体験してみたいかがでしょうか。

ぜひ足を運んで自分の手でやってみてください！



自然光を浴びている完成品

藍染屋 | aizomeya 

藍染屋

住所：〒899-3402

鹿児島県南さつま市金峰町大坂
7764-1

Tel：0993-78-2897

HP：<https://aizomeya.work/>



染め師の神園先生と私たちの完成品

知事の動き

●ベトナム航空チャーター便の就航記念セレモニー・お出迎えへ参加しました（3月27日）●

ベトナム航空チャーター便の就航記念セレモニー及びお出迎えに参加しました。今回のチャーター便は、令和元年10月以来、約5年ぶりであり、また、ベトナム航空及びエイチ・アイ・エスとの連携協定に基づく初めてのチャーター便になりました。

就航記念セレモニーでは、鹿児島からベトナムへ出発する方々をお見送りしました。

また、お出迎えでは、ベトナムからの観光客にノベルティを渡すなど、本県への到着を歓迎しました。

来年度も連携協定に基づき、将来の定期便就航を見据えて、複数回にわたるチャーター便の運航や鹿児島・ベトナム双方の地での共同プロモーションに取り組んでまいります。

塩田知事, 株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役所長 矢田 素史氏
ベトナム航空 ゴー・シー・アイン日本地区総支配人ら3人の握手の様子



塩田知事によるベトナムから鹿児島への旅行者のお出迎えの様子



塩田知事による, あいさつの様子

かごしまの国際交流

●令和5年度鹿児島県海外技術研修員及び県費留学生の修了式・報告会が開催されました（2月16日）●

鹿児島県では、開発途上国からその国の発展と繁栄のための人材として、海外技術研修員を、そして本県移住者の子弟で、本県と移住先国との緊密化に貢献できる人材として、県費留学生を毎年受け入れています。

令和6年2月16日、令和5年度の鹿児島県海外技術研修員3名（ブラジル・パラグアイ・中国）と県費留学生3名（ブラジル・ペルー）の修了式及び報告会が県庁で開催されました。

修了式では、藤本副知事より修了証書授与と記念品贈呈があり、その後の報告会では、各研修員と留学生から、鹿児島での生活や研修先・大学で学んだことの発表がありました。

当日は、各受入機関や大学のほか、宿泊施設やホームステイ先の関係者など、ご支援いただいた多くの皆様にお越しいただきました。

帰国後も、鹿児島で学んだ技術や知識、経験を母国の発展のために役立てていただき、そして母国と鹿児島の大きな架け橋になってくれることを期待しています！



◀ お世話になった方々と

県費留学生の挨拶 ▶



◀ 海外技術研修員の挨拶

かごしまの出来事

●「協力隊まつりかごしま2024」が開催されました（3月17日）●



▲ ステージイベント



▲ 地域おこし協力隊らによる出店



▲ 体育館に集まる来場者



▲ ワークショップ

3月17日、鹿屋市の高隈交流促進センターで、協力隊まつりかごしま実行委員会（青年海外協力隊鹿児島県OB会）の主催による「協力隊まつりかごしま2024」が開催されました。

同まつりは、県民の皆様にも JICA 海外協力隊や地域おこし協力隊を身近に感じてもらうとともに、国際協力や多文化共生のほか、SDGs や地方創生についても理解を深めてもらうことを目的としています。

当日は、世界中の美味しい料理や地域の特産品等のブースをはじめ、各国のお面作りや民族衣装体験などのワークショップや楽しいステージイベントなどが行われ、あいにくの天気にも関わらず、家族連れや学生など多くの来場者で賑わいました。まつりの最後には、1等の JTB 旅行券のほか、特産品詰め合わせや地球儀といった豪華賞品が当たる抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

